

「お前は悪くない」

— 2 稿 —

2026/10/11

初稿：米俵

修正：山極瞭一郎

〈人物表〉

西村 航平	(29)	会社員
田辺 直樹	(29)	航平の友人
森川 美咲	(26)	航平の元恋人
司会		
女性		

1. ファミリーレストラン・店内（夕）

満席の店内。夕日が差し込んでいる。

西村航平（29）と森川美咲（26）、向かい合って座っている。

美咲 「……航平くん」

航平、美咲と見つめ合う。何か言おうとするが……

美咲 「……ごめん」

と、立ち上がる。

バッグには、白い体毛に青い目の猫っぽいキャラクター「あおねこ」のキーホルダー。

航平、それを見る。

美咲 「じゃあ」

航平、力のない笑顔を向ける。

美咲、伝票を取り、立ち去る。

テーブルの上。航平のスマホにも、あおねこ。

2. 西村航平の部屋（夜）

部屋のあちこちに、あおねこが飾られている。

航平、部屋の真ん中に座っている。

スマホが鳴る。田辺直樹（29）から着信。

直樹の声 「どうだった？」

航平 「引き留めるとか、引き留めないとか、そういうことじゃなかった」

直樹の声 「どういう意味？」

航平、棚のあおねこを見る。

航平 「最初から決まっていたこと」

直樹の声 「それでいいの？」

航平 「……まあ」

直樹の声 「待ってろ、今から行くわ」

3. 西村航平の部屋（夜）

テーブルの上には、数本の缶ビール。

直樹、床に座っている。

傍に直樹のバッグ、白くて丸いアザラシーシロマ

るのキーホルダーがついている。

航平、美咲の化粧品や服を段ボールに詰めている。

直樹 「それじゃない?」

直樹、棚のあおねを指す。

直樹 「名前なんだっけ、シロまるの同期」

航平 「あおね。俺が買ったやつ」

直樹 「美咲ちゃんが好きだったやつだろ?」

航平 「……まあ」

直樹 「見るたび思い出すじゃん」

航平、手を止める。

直樹 「どうすんの?」

大量のあおね。

4. 西村航平の部屋（深夜）

直樹、いびきをかいて寝ている。

航平、左手にゴミ袋。右手にあおねこのぬいぐるみ。

ゴミ袋へ入れる。

ぬいぐるみが袋の底へ落ちる。

航平、黙って見つめる。

別の、小さめのぬいぐるみを袋へ入れる。

袋から、あおねこの顔が透ける。

航平 「……」

急いで、2つとも取り出す。

元の棚へ戻す。

航平、部屋を見回す。

邪魔そうに直樹を軽く蹴飛ばす。

5. 会社・休憩スペース（昼）

航平と直樹、昼食中。

航平のバッグには何もついていない。

直樹 「捨てたの?」

航平 「ゴミの曰じやなかったから」

直樹 「何だそれ」

航平、黙って食べる。

直樹 「燃やす？」

航平 「何を？」

直樹 「ぬいぐるみ」

と、スマホを航平に差し出す。

直樹 「昔1回行った。一応勧めとく」

画面、『恋の思い出メラメラ☆卒業式！』のSNS。

6. イベント会場（夜）

河川敷。大きな焚き火台。

派手な横断幕。『恋の思い出メラメラ☆卒業式！』

10人ほどの参加者。写真、服、手紙を抱えている。

その中におおねこのぬいぐるみを抱えた航平。

司会 「さあ皆さん。今日で過去とはサヨナラです」

沈黙。

司会 「……まあ、失恋してますからね」

と、笑う。

男物のパーカーを持った女性が前へ。

司会 「何年ですか？」

女性 「8年」

司会 「長い！ では8年分にサヨナラしましょう」

女性 「できますか？」

司会 「もちろん！ 燃やして。忘れて。次の恋」

女性、目を閉じて、

女性 「燃やして。忘れて。次の恋」

と、パーカーを投げ入れる。

炎が上がる。

司会 「はい、スッキリ」

女性 「……してないです」

と、涙目。

司会 「大丈夫。これからです」

と、ガッツポーズ。

女性、力なく戻る。

司会 「次！ その男性の方」

航平、おおねこを抱いたまま前へ。

司会 「あら、可愛い猫」

航平 「猫じゃなくて、あおねこです」

司会 「あおちゃん、元力ノさんが名付けた？」

航平 「元からそういう名前です」

司会 「元力ノさんが好きだった？」

航平 「……はい」

司会 「見ると思い出す？」

航平 「まあ」

司会 「では、今日でケリつけましょう」

航平、少し考えて、

航平 「ちよつと……」

司会 「はい？」

航平 「これ、持ってたらかしいですか？」

司会 「燃やせば楽になります。ほら燃やし——」

航平、遮り、

航平 「3周年限定なんです」

司会 「通常版でも限定版でも、火は平等です。大丈夫」

航平 「何が大丈夫なんですか？」

司会 「ほら。燃やして。忘れて。次の恋」

航平、あおねこを見る。

司会 「さあ！」

航平、司会を睨んで、

航平 「あんたに分かんないでしょ」

司会、止まる。

航平 「あおねこ、かわいいし」

航平、自分の言葉に少し止まる。

あおねこを見る。

司会 「燃やさない？」

航平、あおねこを見つめる。

司会 「決めるのはあなたです」

航平 「……やめます」

司会 「燃やさない選択も未来です」

航平 「はい？」

司会 「私に強制はできません」

航平 「最初から言えよ」

航平、戻る。

先ほどの女性が立ち上がり、司会に近づく。

女性 「……燃やさなくてもよかったんですか？」

司会 「え？」

女性 「私のパーカー」

司会 「あ、いや」

女性 「8年なんですけど」

司会 「未来に向かって——」

女性 「最初から言いなさいよ！」

と、司会に飛びかかる。

司会 「未来、未来見て！」

止めようと飛びかかる参加者。

航平以外の全員が、もみくちゃになる。

航平、腕の中のおおねこを見る。

会場に背を向けて、歩き出す。

司会の声 「過去は忘れて」

7.

会社・休憩スペース（昼）

航平、直樹と向かい合って座っている。

直樹、おかしそうに笑って、

直樹 「俺と一緒にかよ」

航平 「……何が？」

直樹 「『燃やさない選択も未来です』って言われた」

航平 「行っちゃってそういうこと」

直樹 「文字通り行っちゃった。相当変だったろ」

航平 「そんなの勧めんなよ」

直樹 「何かのきっかけになるかもってさ」

航平、直樹のバッグについたシロまるのキーホルダ

ーを見る。

直樹、シロまるを撫でて、

直樹 「ま、好きなら持っていていいもんな」

航平 「元カノの影響だったんだ」

直樹 「言ったことなかったっけ？」

航平 「知らん」

直樹 「シロまる。あおねこと同期」

航平 「それは知ってる」

直樹 「作者一緒な」

航平 「作者って言うな」

2人は笑い合う。

直樹 「お前さ」

航平 「ん？」

直樹 「それ、持ってていいの？」

航平 「なんで？」

直樹 「29だぞ？」

航平 「お前もな」

直樹 「男だし」

航平 「お前も」

直樹 「思い出さないの？」

航平、少し考える。

航平 「出すね」

直樹 「だよな」

航平 「……でも、好きなら持ってていいんだろ？」

航平、直樹を見る。

直樹、微笑む。

航平 「……それ、どこで売ってんの？」

直樹 「マジ、欲しいの？」

航平 「いらない」

直樹 「は？」

航平 「訊いただけ」

直樹 「何だよ」

航平 「俺、あおねこ派だから」

8.

キャラクターショップ・店内（夕）

あおねこの新商品コーナー。

航平、立っている。

新しいあおねこのぬいぐるみ。
手に取り、しばらく眺める。

スマホが鳴る。

航平、画面を見る。

美咲から。『荷物、届いた。ありがとう』

『どういたしまして』と送信。

スマホをしまう。

あおねこを見る。ふっと笑って、

航平 「お前は悪くない」

あおねこを手に取り、レジへ向かう。

(おわり)